

議会報告会会議録

1 開会日	平成 29 年 11 月 11 日 (土) 午後 3 時 00 分 開会 午後 4 時 30 分 閉会
2 場 所	保健センター 2 階 研修室
3 出席議員	関 威國議長 (開会あいさつ) 竹内恵美子副議長 (閉会あいさつ) 吉川重雄議員 (司会進行) 清田文雄議員 (平成 28 年度決算の主な審査内容について) 二宮加寿子議員 () 坂田よう子議員 () 全議員 (少人数に分かれての意見交換) 柴崎 茂議員 (記 録) 三澤龍夫議員 (会場受付) 玉虫志保実議員 () 高橋英俊議員 (マイク設置等) 鈴木京子議員 (写真撮影) 渡辺順子議員 (パワーポイント操作)
4 参加者	17 人
5 報告事項	(1) 平成 28 年度決算の主な審査内容について (2) 少人数に分かれての意見交換

議長あいさつ、議員自己紹介の後、報告担当議員から決算審査についてパワーポイントを使い報告。その後、少人数に分かれての意見交換を実施した。

(1) あいさつ・・・関議長

平成 21 年 11 月 1 日に施行した「大磯町議会基本条例」の規程に基づき行っている議会報告会も 14 回目を迎えた。今回は平成 28 年度決算の審査における議論の経過・結果を報告する。

その後、少人数に分かれて意見交換を行う。日ごろ皆様が感じている身近な話題を一緒に話し合えればと考えているが、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。議会報告会は、議員個人の意見を申し上げる場ではない。内容によっては町の答弁が必要なものも出てくるが、この場で町に替わって答弁するものではない点を御了解いただきたい。町に対する御意見は、後日、町にお伝えする。皆様からいただいた御意見、御要望は今後の政策提言に繋げていきたい。

(2) 平成 28 年度決算の主な審査内容報告

・・・清田文雄議員、二宮加寿子議員、坂田よう子議員

『議会だよりおおいそ』第 189 号及び議会報告会資料に基づき、平成 28 年度決算に対する決算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。

◎主な質疑

問： 平成 28 年度決算審査の一般会計構成（歳出）資料について、各構成費目の内訳を説明してほしい。町広報と議会だよりも同じ資料を使っている。例えばごみ処理にいくら使っているのかが分からない。他の自治体と比較してもらわないと高いのか安いのか分からない。税金を払っている立場からすれば、町民一人当たりいくらかかっているのか示してもらわないと判断できない。

答： 町広報の資料を引用した。今後は内訳を書くようにし、分かりやすい資料となるよう努力する。

問： 平成 28 年度の一般会計決算が不認定となった。認定されなかったということは修正があるのか。議会が不認定ということは、執行側に十分な対応ができていなかったということで、その責任を取るべきではないか。

答： 予算と違い決算の修正はできない。5 年ぶりに決算の不認定となった。議会が不認定とした意味を町は重く受け止めているはず。今後、町は平成 30 年度予算を作成するが、平成 28 年度決算の内容を踏まえ作成することとなる。

(3) 少人数に分かれての意見交換

少人数に分かれての意見交換を実施。参加者、議員それぞれが 4 グループに分

かれ、意見交換のテーマは決めず、身近な話題について話し合いを行った。

◎主な意見

グループ1 (町民6名・議員3名(三澤龍夫議員・高橋英俊議員・奥津勝子議員))

意： 給食の問題は、第三者が教育委員会や町に恨みを晴らす目的でマスコミに話したのではないか。

意： 給食への異物混入の件で大磯町は写真を撮って異物混入対策を行っていた。対応が生ぬるいのではないか。横浜市は給食の委託業者をすぐ辞めさせた。

意： 給食問題は生徒が給食を美味しくないとする問題から異物混入の問題に変わっていった。何が原因なのか、しっかり対応してほしい。

意： 大磯港に設置する予定の賑わい交流施設には、毎日1000人が来るという想定であると聞き驚いた。町民にメリットがあるのか。議員は、町民に納得する説明ができるようにしてほしい。

意： 中学校給食は導入前に実施したアンケート結果と反対のことをやったので問題となった。先生や町の対応を生徒たちは納得していない。給食問題は新駐輪場の建設問題と一緒にある。大磯町自治基本条例に基づき町民の意見聴取を行うべき。

グループ2 (町民4名・議員3名(玉虫志保実議員・鈴木京子議員・柴崎茂議員))

意： 会議傍聴ルールが町民参加の視点にたっていない。中学校給食の懇話会でも新聞記者が抗議していた。資料も国会なら事前にホームページで入手できる。傍聴も10人が限度では非公開に等しい。駅前の検討委員会でも同様。透明性のなさを感じる。傍聴人数や資料配布への対応を求める。

意： 町ホームページで、駅前の検討委員会の案内が移動し新着情報に入っていた。わかりやすいホームページにしてほしい。みなとオアシスも緊急ではないと考える。十分な話し合いが必要ではないか。一部の人の意見だけでなく、反対意見も生かしてほしい。

意： 職員の仕事の進め方が夢も希望もなく、いいものを作ろうとするのではなく、やっつけ仕事に見える。どうしたら職員が希望を持って仕事ができるのか考えてほしい。専門分野でない部署に職員を配置したり、すぐに異動させるなど苦痛に思う人もいると思う。

意： 中学校給食は自校方式にしてほしい。おいしい給食で挽回を。駅前整備は最低限でよい。みなとオアシスは不要。「明治150年」関連施策をきっかけに、町の税金を使ってほしくない。町民の意見を聞かないのは困る。

グループ3 (町民3名・議員2名(清田文雄議員・吉川重雄議員))

意： 明治150周年関連施策構想について、町民に対しての情報がない。固定資

産税が減額する問題もある。整備費用も検討が必要である。町民の知恵を出し合うことが重要なのではないか。町民の意見をよく聞いて汲み取っていただきたい。

意： 台風の時に防災無線の避難アナウンスが北下町に住んでいる人に聞えなかった。防災無線の伝達状況を調査し、聞こえるように対応を検討してほしい。

意： 中学校給食について、これだけの問題になったことは議会にも責任がある。過去をしっかりと検証し、今後の対応を行うべき。今後は検証の仕組みづくりが大事である。今回の件を今後に活かしてほしい。

意： 予算決算の附属説明書が非常に希薄である。きちんと評価、精査するためには、もっと附属説明書の内容を精査するべきである。うわべだけのチェックしかできていないのではないか。

意： 行政の事務事業評価について、職員が判断した評価を議会がチェックしている状態で、本当の評価ができていないのか。外部の人材を入れて、しっかりと評価をする必要があるのではないか。

グループ 4 (町民 4 名・議員 3 名 (二宮加寿子議員・坂田よう子議員・渡辺順子議員))

意： 中学校給食の問題もあり一般会計の決算が不認定となったが、これまでの議会の対応はどうだったのか。議論はしたのか。

意： 中学校給食について議会が拙速だと言っているが、経過を聞くと平成 25 年から 3 年間くらいかけている。執行者はベストだと思って決めたはずである。今回初めて傍聴に行ったが議員の質問に町は真摯に答えていないように感じた。食育などで議員はもっと詰める質問をすべきだった。

意： 中学校給食について他の自治体ではどのように行っているのか。比較すればもっとわかるはずである。議会ももっとしっかりと取り組んでほしい。急がず無理をしないで検討して日本一の給食にしてほしい。

意： 中学校給食の問題については、今回写真まで撮って発表している。まずい、冷たいなど大袈裟に仕組んだように感じた面もあった。実際はどうだったのか。

意： マリア道の整備はどのくらい進んでいるのか。ルートはどうなっているのか。

意： 星槎学園について、町と一緒に何かができるように利用を検討してほしい。

意： 星槎学園のバス運行について、今は農免道路（町道幹線 18 号線）から迂回しているが、道路も傷んでいる。皆が使えるようにマリア道を早く整備してほしい。

(4) 閉 会
